

令和2年度災害発生状況

今年も令和2年7月豪雨、台風9号・10号などにより自然災害が発生しています。現在も通行止め・片側交互通行など交通規制を行っている場所も存在しています。一刻も早い復旧を行ってまいります。



令和2年度7月豪雨により被災した勝本石田線(苓崎市芦辺町)



令和2年7月豪雨により被災した佐奈河内川(大村市今富町)



令和2年台風10号により被災した佐尾港線(新上五島町奈良尾郷)



令和2年7月豪雨により被災した平戸生月線(平戸市主師町)



令和2年台風10号により被災した長崎空港連絡船棧橋施設(大村市箕島町)



令和2年9月12日の大雨により被災した野母崎宿線(長崎市大崎町)

地域の守り手が活躍しています

災害発生時、地域の守り手である『建設業従事者』はいち早く現地に駆けつけ、塞がれた道路の土砂撤去や河川堤防の決壊箇所を土のう袋で積み上げるなど応急的に復旧措置をしてくれています。そのことにより地域の安全が守られています。



特集 2

3か年緊急対策の成果

平成30年補正予算、平成31年度当初予算、令和2年当初予算の3か年に渡り、国から通常予算と別枠で災害関連の予算措置がなされました。長崎県としては約200億円の予算を獲得し、県内各地で様々な対策を行ってきました。その効果の一部を紹介します。



分野:道路
場所:佐々町
路線名:主要地方道佐々鹿町江迎線
効果:擁壁の嵩上げにより越波被害を防止しました。



分野:河川
場所:佐々町
路線名:二級河川佐々川
効果:河床掘削により令和2年7月豪雨災害時に水位低下の効果がありませんでした。



分野:海岸
場所:西海市
路線名:七ツ釜港海岸
効果:護岸の嵩上げにより、浸水被害を防止しました。



分野:砂防
場所:新上五島町
路線名:新港川(口)
効果:土砂災害を防止しました。



分野:道路
場所:雲仙市
路線名:一般県道雲仙千々石線
効果:法面の落石対策により通行車両への被害を防止しました。